

久万高原町
議会だより

第12号

2017年
2月



天文台



観望会



プラネタリウム投影

主な内容

天空のお城から見る星たち	2	一般質問	9~13
議長挨拶	3	総務文教厚生常任委員会	14
第5回臨時会議案一覧	4	産業建設常任委員会	15
行政報告	5	本会議12月16日	17
平成28年12月定例議会	7	議会報告会の報告	18
第6回定例会議案一覧	8	常任委員会行政報告	19
		編集後記	20

天空のお城から見る星たち

久万高原町から眺める星空は都市部と違い漆黒の闇の中に星たちが輝きます。久万高原天体観測館は口径60cmの反射望遠鏡とプラネタリウムが設置され、旬の天体を楽しんでいただけます。春は「北斗七星」が見やすくなります。



春はひしゃくの形、北斗七星がよく見えます

ひしゃくの柄を伸ばすと、アルクツウルスとスピカを結び春の大曲線を作ります。頭上には大きな人喰いライオン「しし座」が周りににらみをきかせています。この光景を見ると古くからの天文ファンは彗星（ほうき星）を思い出すでしょう。特に百武彗星、ヘール・ボップ彗星がと

ても明るく長い尾を楽しませてくれました。夏は頭上に、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブの3つの明るい星が三角形を作ります。



夏は頭上に夏の大三角が輝きます



天の川の観察は大人気です

さらにさそり座、いて座、天の川が良く見えます。天の川は南の空から北東の空にかけ、大きな光の橋が空に架かっています。この天の川体験で子ども達もお父さんお母さんも満足されます。子どもでもすぐわかる「夏の天の川」体験は夏休みの良い思い出となります。

夏休みが終わると東の空から天馬ペガススやアンドロメダ姫、カシオペア王妃の姿が現れ、秋も本番を迎えます。この時期は1年で最も星座探しが難しいと言われます。理由は明るい星、1等星がたったの1つ。華やかさのない空になつてしまうからです。頭上には「ペガススの四辺形」という四角い並びの星がよく見えます。この四辺形を使えば秋の星座探しが容易になります。そして肉眼で見える「アンドロメダ大銀河」の姿が素晴らしいです。写真に写すとカッコイイ姿を見せてくれます。

冬は1年で一番にぎやかな星空です。オリオン座、おおいぬ座、こいぬ座、おうし座、ふたご座、ぎよしゃ座と目立った星座が輝きます。1等星は合計で7つもあり、南の低空にカノーパスという1等星もあります。これは南極老人星とも呼ばれ、見た者は長生きができると言われていています。見どころも満載でオリオン座大星雲、すばるなど多くの星雲、星団が見えます。

年間を通した天文現象、定番の流星群や明るい惑星たち、特に木星の縞模様や土星の環がよく見えます。運が良ければ突発天文現象で明るい新星や彗星が見えることもあります。

ここ数年ですが星に興味を持たれる方が増えていると感じます。また若い女性達も増えていきます。彼女らは「宙（そら）ガール」と呼ばれています。デジタルカメラを使って天体写真を撮影する方も多いです。写真がフェイスブックやツイッターにアップされ久万高原がネットで紹介されます。

このように星が楽しめるのは「星空環境」が素晴らしいことです。肉眼で約6等の星が見えるため満天の星空を楽しむことができます。これらを生かして久万高原町の名所の1つとして活動できることを誇りに思います。開館しておよそ四半世紀ですが、今後もこの星空を伝えたいと思います。体験こそ最高の教師と言われています。ぜひ久万高原の星空体験をしていただきたいと思います。

(藤田康英)



藤田学芸員



中村係長

政治は何歩先をめざすべきか

久万高原町議会議長

高橋 末廣



明けましておめでとうございます。

日頃は議会に対し、何かとご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年は実に穏やかな年明けとなり、青空のもとで初詣に出かけられた方も多いのではないかと思います。

本年の干支である「酉」は、古くから夜明けを告げ太陽を呼び起こすものとして神聖視され、信仰の対象でした。日本神話にも、天岩戸にお隠れになった天照大神を呼び出すために、鶏を集めて鳴かせたというのがあります。相撲の世界では、鶏は「手をつかない。後ろに下がらない。」というゲンを担いで、ちゃんこ

料理に鶏肉を多く使うそうです。西洋でも古くから屋根に、恵みと幸せを呼ぶ「風見鶏」を取り付ける習慣があります。

というように、酉は大変縁起のいいものですが、一方では「申・酉荒れる」という言葉もあるように激動の年になるといわれます。事実、申年の昨年は四月の熊本地震・十月の鳥取地震など大きな地震があり、台風が相次いで東北・北海道へ直接上陸して風水害をもたらしました。

世界的に見ても、イギリスのEU離脱やアメリカのトランプ大統領の誕生など、「想定外」のことが相次いで起こりました。その「想定外」という言葉も、最近では聞きなれてしまいました。時代が進むにしたがって「想定すること」が困難になっていくことに間違いのないと思われ、その中で国や地方公共団体は、将来をどう想定し、今どのような対策(行政)を行うべきかが問われています。「政治は未来が評価する。」と言われるゆえんだと思います。

その意味でよく例えられるのが松山の水問題です。かつて面

河ダムの分水を検討した際、時の市の為政者は、その当時の人口からすれば必要ないと判断し、飲用水の分水を断りました。以前松山を襲った千ばつ(私もその頃松山に住んでいました)、その影響は日常生活が大きく変化するほど深刻なものでした。今となっては、西条に分水交渉してはいますがこれといった進展はないようです。将来の人口増を見込めなかった当時の為政者の責任を問われます。

他人事ではありません。久万高原町においても、光ファイバーの問題がそうです。現代社会において、通信をいかに素早く効率よくつなぐことができるかは、大変重要な事であり、都会に住まなくても、あるいは会社に出社しなくても仕事ができる、買い物や銀行取引ができ、こちらからも瞬時に世界に発信できる。そういう通信手段を確保しないと、今後の発展には大きなさまたげになります。例えば移住・定住を推進するにしても限度があるのです。過去にその光ファイバーを全町に網羅するチャンスがありました。当時、その必要性を感じなかったことよって、今となっては愛媛県で唯一光ファイバーのない町となってしまいました。

今、私たちは一丸となってそのことに取り組んでいます。

国の事業が終了した今日、容易ではなさそうです。

確かに時代の歯車が高速で回転している今日、長期を見渡すことは困難でしょう。しかもわが町には過疎と少子高齢化を起因とした、急いで解決しなければならぬ現実の課題が山積しています。当然それらを解決することが先決です。が、一方、将来我々の子孫への遺産としても、しっかりと何歩も先を見据え、すぐになすべきこと、半歩先、あるいは数歩先をめざしてなすべきことを見極め、確実に実施することが大切だと思います。そのためには議員一人ひとり自己研さんを積み、住民の皆様の声を大切にしながら、議会としての責務を全うすべきだと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

なお、今年は4月16日投票で町議会議員選挙があります。全町一区となって初めての選挙です。皆様そろってご投票いただきますようお願いいたします。

鶏の声が、皆様にも久万高原町にも幸運を呼び寄せ、大きく飛躍する良き年となりますようお祈りしてご挨拶いたします。

平成
28年

第5回 久万高原町議会臨時会

議案一覧表

【会期 平成28年11月29日(1日間)】

番号	件名	議決結果
報告 第21号	損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について ごみステーションで収集トラックがバックした際駐車車両に接触、賠償金141千円を全国自治協会自動車損害共済により支払う	承認
議案 第95号	久万高原町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償支給条例及び久万高原町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について 期末手当12月1日基準日 100分167.5を100分177.5に改める	原案可決
議案 第96号	久万高原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 勤勉手当100分80を100分90 期末手当100分157.5を100分の167.5 給料表1,500円1%から400円0.1%約増	原案可決
議案 第97号	平成28年度万高原町一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ680万追加	原案可決
議案 第98号	平成28年度久万高原町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ15万追加 主な内容勤勉手当	原案可決
議案 第99号	平成28年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ54万追加 職員手当・共済組合負担金	原案可決
議案 第100号	平成28年度久万高原町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ12万円追加 職員の給料・手当	原案可決
議案 第101号	平成28年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)歳入歳出 それぞれ7万円追加 一般職給料・勤勉手当	原案可決
議案 第102号	平成28年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)歳入歳出 それぞれ7万円追加 一般職給料・勤勉手当	原案可決
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件 本会議の会期日程等議会運営に関する事項	承認
	議員の辞職許可 長山淳志 議員	決定

平成28年第5回久万高原町
議会臨時会(質疑の要約)
長山淳志議員の辞職許可

瀧野 今回これで、二人の辞職と大変なことで、議員が事故を起こしたとなれば、議会自ら、倫理規定なり、申し合せ事項を決めて、2度とないように対処すべきである。

議長 同じ議会で2件続いて発生したことに、大変責任を感じている。今後も議会の中で申し合せ等しっかりとしたものを作っていく。協力のほどお願いする。

瀧野 これは選挙民に対して申し訳ない重大ことである。きちんとした考え方を、町民の皆さんに示さなければならぬ。

議長 異議なしと認め、「長山淳志議員の辞職」を許可することに決定する。

行政報告



河野忠康町長

12月定例会の開催にあたり、ごあいさつ申し上げます。町内を美しく彩った紅葉も落ち葉となり、今年も残すところあと僅かとなりました。議員各位におかれましては、11月4日の面河地区を皮切りに、12月7日まで、町内7会場で開催されました「議会報告会」を終えられたばかりで、たいへんお疲れのことと拝察いたします。町民の声に真摯に耳を傾けようとするその姿勢に、心から共感し敬意を表する次第でございます。

本日は、年末を控え極めてご繁忙の中をご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

それでは、恒例の行政の動きについて、概要をご報告いたします。10月、11月は観光シーズンでもあり、多くのイベントが開催されました。

10月15日、16日の2日間、本町最大のイベント「第46回

久万林業まつり」を、久万公園を主会場に開催いたしました。今年も、各コーナーで趣向をこらしたイベントを開催しており、ものづくりを楽しむ親子の姿なども多く見られました。天候が危ぶまれる中、二日間で12,300人の方にお越しいただきました。この全国的にも珍しい「林業」の名を冠した伝統あるイベントを、今後も趣向を凝らして発信して参りたいと思います。



続いて、10月23日には、第21回久万高原マラソン大会を開催し、県内外から、1,000人以上の参加をいただきました。

昨年からは、本町の地形を生かしたアップダウンの激しいコースへと変更いたしました。参加者には大変好評で、曇天の中ではありましたが、住民の皆様の温かい声援をいただき、事故もなく無事大会を終えることができました。また同日、農業公園を主会場に「秋の収穫祭」も開催いたしました。



当日は、天候が不安定な中ではありましたが、多くの方々にご来場をいただき、かかしコンクールやクラインガルテ

ンコンテストの表彰式、地元産品を使った料理コーナーや新鮮な農産物の販売、餅まきや餅つき体験、上高生のプランターづくりなど、都市と農村の交流が図られ、大いに賑わいを見せていました。

収穫祭開催にあたりましては、地元畑野川地域の皆様や関係機関の皆様にも、多大なご協力をいただきましたこと感謝したいと思います。

久万美術館では、今年度の企画展「風景の向こう―喜多村知・松田正平」を9月10日から11月23日まで開催し、期間中は町内外から2,400人の入館がありました。この二人の洋画家は久万美術館の館蔵品とゆかりのある、美術評論家の洲之内徹が見出した画家でもあります。二人の出身地が島根、山口ということもあり、特に中国地方の入館者が多く見受けられました。この二人の画家の展覧会を同時に開催することがなく、NHKの日曜美術館で取り上げられたこともあり、全国に発信する展覧会になりました。

また、柳谷地区では10月2日に、さんさんドームにおいて、「第22回やなだに産業まつり」が開催され、地元特産品の販売やカラオケ大会、歌謡ショーなど、地域が一体と

なつた催しがあり、町内外から訪れた約600人のお客様に秋の久万高原を楽しんでいただきました。



面河地区では、11月13日に、面河住民センターにおいて「第37回面河ふるさとまつり」が開催され、地元の子どもたちによる発表や、有志の皆様による「石鎚天狗太鼓」、「まございさん」などの芸能発表、そして歌謡ショーなど、心のこもった手づくりの催しに、秋の行楽に訪れた大勢の観光

客の皆様にご覧いただき、ありがとうございました。また、面河山岳博物館で、10月8日から11月23日までの間、秋の企画展として石鎚山系写真展「溪と森と山と」を開催し、地元写真家が撮影した石鎚山や面河溪の大型パネル25点を展示しました。面河ファンや写真愛好家、家族連れなど、紅葉狩りに訪れたお客様の入館もあり、約1,100名の方々にご覧いただきました。



本当にたくさんの方々が開催されており、せっかくのイベントですので、さらに多くの方に参加していただけるように、アイデアを募りPRに努めたいと思います。次に、諸準備が整いましたことから11月13日に「まちなか交流館」のオープン記念行事を執り行いました。当日は、軽トラ市「くまくるまるしえ」の同時開催により花を添えていただき、本町出身の正岡道一氏からご寄贈いただきました84点の創作こけしの展示や、町内の指導者による体験教室、スタンプリナーなどの催しを実施し、大勢の来場者にご参加いただくことができました。

本施設の建設、開館につきましては、いろいろとご心配などもいただいておりますが、皆様のご理解により開館の運びとなり、心から感謝申し上げますとともに、今後は、賑わい創出拠点施設として、活用を進めて参りたいと考えています。

次に11月8日に、「生活環境の保全に関する専門委員会」を開催し、環境保全条例の制定や産業廃棄物最終処分場の設置問題などについて、

ご意見を頂きました。環境保全条例制定は、久万高原町の生活や自然・農業を守り、将来にわたって町民が安心して暮らすために不可欠であり、多くの皆様にご意見をいただきましたながら、取り組みを進めて参りたいと考えております。

また、産業廃棄物最終処分場については、計画の撤回が表明されているところではございますが、今後においても設置反対の決議が、本委員会において全会一致でなされましたのでご報告させていただきます。

それでは、今回の定例議会へ提案をいたします議案の概要を申し上げます。

今回は、条例の制定が1件、条例の一部改正が1件、補正予算8件でございます。

以上、いずれも、十分なご審議をたまたわり、適切な決定をいただきますようお願いを申し上げます。並びに招集のあいさつとさせていただきます。

平成28年

12月定例議会

12月12日～12月16日

□ 平成28年12月補正後予算額

総額	150億2381万円	(9708万円増)
一般会計	86億5609万円	(8398万円増)
特別会計	41億8330万円	(799万円増)

□ 平成28年12月の主な補正

歳入	分担金及び負担金	557万円(減)	
	国庫支出金(臨時福祉給付金)	4437万円	
	県支出金	1229万円(減)	
	財産収入	4万円	
	繰越金(前年度繰越金増額)	7554万円	
	諸収入(道の駅施設販売収入)	1268万円	
	町債	3080万円(減)	
歳出	総・文・厚	社会保障・税番号制度の電算システム構築経費	2619万円
		固定資産評価替えに伴う鑑定評価委託料	729万円
		臨時福祉給付金及び給付に要する経費	5446万円
		児童手当	384万円
		みかわクリニック及び柳谷診療所の電気設備等修繕費	308万円
		上浮穴高校振興対策協議会補助金	200万円
		道の駅の賄材料費・売店材料費	1240万円
		里地棚田保全整備事業・基盤整備事業の補助金確定に伴う事業費	3621万円(減)
		県営中山間事業及び農地整備事業の事業費確定に伴う事業費	1030万円(減)
		林道開設事業等の国・県事業等の確定に伴う事業費	3800万円(減)
		農村活性センターみかわの改修に要する経費	830万円
		公共工事残土処理場土地購入費	184万円
		町道芋坂線舗装事業の国庫補助額の確定に伴う工事請負費	300万円(減)
		町道大坊公園線改良事業の国庫補助額の確定に伴う工事請負費	1800万円(減)
		堂ノ奥谷川の河川維持修繕工事費	500万円
台風16号による林道長崎明神山線等災害復旧費	3250万円		

平成
28年

第6回 久万高原町議会定例会

議案一覧表

【会期12月12日～12月16日】

番 号	件 名	議決 結果	委員会 付託議案	採決日
議案 第103号	久万高原町農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	原案 可決		12月 12日
議案 第104号	久万高原町農業委員会の委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決		12月 12日
議案 第105号	平成28年度久万高原町一般会計補正予算(第5号)	原案 可決	総・文・厚 産建	12月 16日
議案 第106号	平成28年度久万高原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案 可決	総・文・厚	12月 16日
議案 第107号	平成28年度久万高原町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)	原案 可決	総・文・厚	12月 16日
議案 第108号	平成28年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案 可決	総・文・厚	12月 16日
議案 第109号	平成28年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案 可決	産建	12月 16日
議案 第110号	平成28年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案 可決	産建	12月 16日
議案 第111号	平成28年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)	原案 可決	産建	12月 16日
議案 第112号	平成28年度久万高原町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	原案 可決	産建	12月 16日
議案 第113号	平成28年度久万高原町一般会計補正予算(第6号)	原案 可決		12月 16日

※ 総・文・厚 〈総務・文教・厚生常任委員会〉

※ 産建 (産業建設常任委員会)

一般質問



玉井 春鬼議員

農業の6次産業化について

問 久万高原町の気候や風土にあつた高原野菜の栽培、そして加工・販売していく特産品など、農業の6次産業化への現状と、今後どう振興を図っていくのか伺う

答 例えば、イチゴがスーパーで1パック500円として売られている、幾つかの流通業者を経由すると農家の手取りは150円程にしかならない。しかし、農家が自ら直販所で売れば、1カ所の手数料だから400円となる。しかも、完熟のおいしい状態を提供できる。さらに、規格外品も、タルトやジェラートに加工することにより無駄がなくなる。そうすれば、どこでも買えるイチゴではな

く、ここだけの商品に生まれ変わる。6次産業化とは、こういう事である。

道の駅への6次産業化商品の出荷者、品数も確実に増えている。加工品を製造販売する農家数14件、漬物、ジャムなどの製造販売する農家は107件にのぼっており、付加価値を付けた販売を目指す農家が、数多く存在する。支援策としては、ハード面では設備投資に対して助成を行い、野菜乾燥機や、真空包装機の購入をしている。

ソフト面では、道の駅推進室において、農産物加工スキルアップ講座を年間通じて開講している。意欲ある取り組みに、積極的に支援を講じる。

問

ひとつ提案する。

久万高原の風土に合つて、有害鳥獣にも強い、大根が一番適している。いぶし大根を、10年ほど前に秋田へ見に行き、相当好評だった。自分で大根を作り、山の木を切つていぶし、漬物にして販売する。

それと、遊休農地がたくさんある。その中に昔からある柚子を栽培する。今のところ、家庭用としてやっているが、町が苗木を購入して、空いて

いる畑に植えることを、強力に皆さんにすすめる

答

いぶり大根、いぶりがつこは、東北に参れば、あるいは長野県あたりでよく見かけている。品種を研究する必要があるので。

柚子については、高知の馬路村が柚子で村おこしをしたことが大変有名である。ただ寒いところでは難しいところもあり、研究をしなければいけない。トマトを中心にさまざまな分野で、緑地化に向けた研究を積み重ねていく。

林業の6次産業について

問

木質バイオマスのエネルギー関連産業が無い為、燃料などの支払いは地区外へ出費される。適正な規模と技術で、エネルギーを地域内で生産出来れば、資源や経済など地元が潤うと考えるが、所見を伺う

答

新たな木材需要の観点からと、地域エネルギーの確保と言う観点においても必要と考える。久万高原のエネルギー消費割合は、灯油35%と電気とほぼ同等で全国平均の約2倍である。地域の

資源を利用することにより、地域内循環させれば、地域経済の活性化、災害時等のエネルギー確保になる。今後専門的な調査を行い、バイオマスタウン構想を掲げたい。

問

バイオマスエネルギーは、事業の計画段階から、自治体が積極的に関与し、地域の合意形成を行っていく必要がある。第三セクター、NPO法人で行う方法もいかがなものか

答

全国的にも緒についたばかりである。大型バイオマス発電は、精査しなければならぬ。木材の端尺から粉碎し、ペレットに変えて、農業用ハウス暖房ボイラーに使う等、効果的な方法を見出したい。着実なバイオマスエネルギー構想を、打ち立てていきたい。



柚子の木

一般質問(2)



日野明勅議員

久万高原町農業公社の今後について

問

平成12年9月18日農業就業者の高齢化や担い手不足により、久万高原農業公社が設立された。農用地の利用調整、遊休地の利用調整、遊休農地対策、担い手育成対策など総合的農業支援対策を目的として、久万高原町、松山市農協、県中予地方局産業振興課、久万高原農業指導班など関係機関が一体となつて、平成17年4月1日に新たに久万高原町営農支援センターが発足した。人と農地の一体的支援をかがげ今日に至っている。しかし一定の効果と評価は得ているが、設立以来10年余りを経過した現在

初期の目的内容が大きく変化をしている。農業人口の高齢化と減少により放棄地は増加の一途である。

今、原点に立ち返り農業公社を核とした久万高原町農業のあり方を、活力あるものに企画実行する時であると思う。町長の所見を伺う。

答

議員指摘の通り、諸々の取り組みにもかかわらず生産組織が年々衰退しているのが現実である。平成26年に久万農業公園・農業公社検討委員会からの答申の中で、まずまず農業公社の果たす役割は重要となっており、今後積極的に事業継続に取り組み、農業公社の一層の充実とパワーアップを図り、指導力を強化していきたい。農業公社研修生や卒業生に対して継続した生産指導等のフォローが出来る体制作りや、頑張っている農業者を支援出来る体制作りをしていく。

問

町長は、もうかる農業づくりをこれからのテーマとしたい、と言われるがどの様な方策をとられるおつもりか。

清流米、トマト、ピーマン

など久万高原印の生産物が、健闘されているが今後一層競争が厳しくなっていく。生き残るために久万高原町の特性を生かした農産物の開発が必要である。

砥部町の七折小梅、広田の長いも、馬路村の柚子などの様に、農業公社を中心にもうかる農業が推進出来るシステム作りが急務であり、専門的知識、使命感と実行力をもつた人材の登用が不可欠である。

久万高原町に人材はおり、思い切ったプロジェクトチームの設置こそ最重要である、町長の所見を伺う

答

米、トマト、ピーマンはまだまだ需要がたくさんあると聞いている、しかし、後継者が少なく、放棄地も散見される折柄、農業に意欲を燃やしておられる認定農業者100名余の方々と協議して、トマト、ピーマンに続く農作物の研究にも取り組んでいく。

問

ガルテンの運営について、昨今空き家が多い、Aタイプ8、Bタイプ14、Cタイプ40の62区画あるが、コ

テージ付22のうち11が空いている状態で、高原を利用した市民農園であるが、その体をなしていない。管理、指導が行き届いていない様に思う。あれだけの施設を管理するのは、片手間では出来ない。市民農園である限り利用者が楽しめることが大切である。農業公社内の大切な市民農園として、管理を別枠にすべきではないか、全てが貸与出来れば採算は充分に合うはずである。

答

議員指摘の通りであり、クラインガルテンのあり方については、老朽化とお客様のニーズの問題等を精査する必要がある。検討委員会も設置されており、今の指摘を踏まえて充分に活用出来る方向付けをしたい。



クラインガルテン

一般質問 (3)



天野辰晴議員

農業振興について

問

農業公園の研修制度があり、研修後は、多くの方がトマト栽培に取り組みなど活躍されているが、さらなる研修制度の充実をどうするのかが。

農業公園卒業生となれば、就農時に施設などへの助成があるが、学校を卒業されたり、Uターンで帰られた方が、即、実家の農業を始めるとき、特別な助成がないので、何か考える余地があるのではないかと。高冷地の特性を生かした、夏秋トマト栽培も平成18年には122名の生産者も今年には93名と生産者集団の規模も小

さくなり生産力、販売力が弱くなってきた。栽培には多額の施設費用がかかるが、台風災害に強く、また温暖化をクリアするために、風通しのよい施設が必要となってきた。トマト栽培の将来を見据えて新規栽培者への助成、また、更新施設への助成ができないか

答

現在の研修制度は、原則2年間研修を行い、期間中は、研修補助金を支給し、住まいも、研修後の農地についても、公社があつせんし、新規就農に際して、必要な農業施設、機械の購入に助成制度がある新規就農者に関しては、国の青年就農給付金制度もある。

後継者の方が就農されたときの助成金制度は、国の青年就農給付金制度しかなく、親からの自立、経営の移譲を求められ、新規就農より少し厳しい条件である。

更新施設の助成については、現在まで、特別な場合を除き、行っていない。新規就

農者で、公園卒業生以外の方については、町単独事業の農産物産地化支援事業で助成を行っている。この事業は、各生産者部会の方も利用されている。

今後の取組として、高原野菜の発展を考えると、高額であるハウス施設の新設、更新について助成制度のルール作りを早急に検討し、対応していく必要があると思っている。研修制度、町にとって大変重要な制度であると認識している。農業公園をさらに充実して、若い方々にトマト農家として、就農、移住していただくのが、理想とする姿であろうと思っている。

問

トマト栽培施設への補助金は、個人への補助金になると問題視されるが、一番大きな定住化に目を向ければ、確かな将来の投資となる。

例えば、ある国では、農民一人が生きていけると言われる言葉がある。そのようなこ

とを考えると3分の2ぐらいの補助金、助成を何とか願いたい。

答

トマト栽培は、高齢化も進みハウス施設も老朽化していること、生産者の方や関係機関の方から伺っている。

トマト施設の更新については、特に補助制度は現在のところない。

早急に検討して、どういう方向性がいいのか、十分精査して、制度の確立を図ってきたい。



トマトハウス

一般質問(4)



安川正明議員

スパーク久万ゲートボール場を、遊び場として使えないか伺う

問 私の調べた限りでは、毎日8人から10人ぐらい午後1時から5時まで、1面のコートを使っている。残り1面のコートは、使用されている様子はない。

雨の日など、子供を遊ばせるために、松山まで下りる若い親もいる。冬の長い久万では、寒い外で遊ばせるのは、酷なことである。冬の間に限ってでも、遊び場として使えないか伺う

答

平成27年度の利用者数は、ゲートボールが約2,600人、以外で約400人である。全面使用した日数は、約15日である。ゲートボール以外には、久万保育園の運

動会、障がい者福祉会の交流会に使用している。床はオムニコートで、天井も低いため、一般の球技には適していない。レクレーションなど、利用を促進して行きたい。冬の間、遊び場としての開放は、アイデアのある提案だと思う。現在は、町のゲートボール協会と管理委託契約を結んでいる、今後の検討課題とした。

問 協会と教育委員会で検討して、結果を出すのか伺う

答 遊び場として利用するには、どのような団体との折衝、久万保育園・幼稚園などのニーズがどのくらいあるのか。協会と教育委員会話し合いになる。



スパーク久万

地方創生に係る、移住・定住の具体策を伺う

問 地方創生に向けて、移住・定住を町民と一体となつて進めようとしているが、現在行っている施策や今後の予定について伺う。

神山町は、官民一体となつてまちづくりをしている。職員や若者が中心となつて、小さなグループで、24個のプロジェクトを立ち上げ、実行している。

海士町では、特別進学コースと地域振興コースで、島の振興策を研究させている。町にとつて共通の問題は、地域振興と、高校の存続は車の両輪と考えてもよい。久万には様々な資格を持つ方、英語に堪能な方がいる。人間力を養い、特に英語力を身に付けることが、これから社会の必須条件である。

町が何をしてくれるかと言うことよりも、自分は町に何ができるかと言う意識の芽生えが、再生へのスタートになる。行政だけでは限界があるのだから、如何に民間の力を活用するかにかかっている。町長は如何お考えか伺う

答 本町は、県下で最も人口減少率の高い自治体である。

人口問題対策は、急いで対応しなければならぬ課題である。高い効果が期待できる移住定住施策は、積極的に推進する。空き家バンク制度の推進、移住者向け住宅改修費の補助、定住促進住宅の分譲、地域おこし協力隊の導入などを実施し、成果も少しずつ見え始めた。東京で開催される移住フェアに、職員の派遣、移住者の参加も願い、移住希望者に話をして頂く、などの成果を大いに期待している。最も大切なことは、地域と行政が共通の認識を持つこと、地域の理解と協力がなければ、移住政策は成り立たない。

移住定住に関する担当セクションの強化をする。高校問題については、島根県と愛媛県では、取り組み始めた年度が違い、直ちに素晴らしい運営は出来ない。上浮穴高校振興対策協議で、熱心な議論を繰り返しているが、大事なことは、今、高校生も頑張っている、更に魅力を増す上浮穴高校になれるように、私達も皆さんと共に、一緒になった支援をしていく。

一般質問(5)



中野克仁議員

将来の久万高原町について

問 今年度、町の総合計画とともに人口ビジョンも策定された、2040年には約4300人との推計であるが、国や県の人口予想に準じてと記憶しているが、どのように決められたのか、ビジョンでなく、予想であると思う。人口4300人では久万高原町は、町立病院の運営、上下水道事業など、成り立たない不安を感じる。策定された総合戦略も、真の地方創生にはつながらない。見直しを含めて将来の久万高原町の将来像について伺う。

答 総合戦略については、人口問題、雇用、経済政策に特化したもので、総合

計画の重点実施事項と位置づける。毎年外部監査員による評価を実施し、PDCAサイクルによる見直しを行うことができる、成長する計画で今後とも育てていく。

国立社会保障人口問題研究所によれば、2040年における本町は4300人と予測されているが、これは2015年から25年間、人口減少対策をしなかった場合の推計値である。

人口ビジョンについては、2060年の推計値に対して、目標値を定めたものである。40年後には、日本の人口8674万人、愛媛県81万4000人、本町2291人まで減少が予測され、これに対して、国は1億人、県は100万人、本町は4000人の目標を定めて、減少対策を行う。これを完全にとめる特効薬はない。産業振興、雇用確保、人口問題対策などで、着実に戦略の推進を行う。

問 旧久万町の中心部を中心としたスマートタウン的な構想で、町の存続を図っていくのか。あるいは、合併前の1町3村、それぞれの特性を生かした地域を、小

さな拠点づくり的な方向で整備していく、同じように存続させるのか。問題点である移住定住であるとか具体的な答弁を求める。

答 総合戦略を立てて、具体的に一つずつ解決を図っていく。

せっかく町村合併を成しえたわけであるから、旧久万、そして美川、面河、柳谷と、それぞれが同じ速度で、さらにお互いが融合性を持つて進んでいかなければならない、地域格差が出てはいけない。

子どもを生み育てる数が少ない、その前に人口が少ない、その対策が見えてこない、直ちにどうすればできるのか、特効薬はない。一つずつ厳しい道のりではあるが、緊張感を持つて対応していく覚悟である。

問 確かな方策はない、けれども何かしなければならぬ、みんな同じ気持ちである。我々議会も、町と住民と一緒に進めていくべきである。

しかし、町として、町長として、リーダーとして、将来的に、発展をしているか、成

長していたか、そういう構想がビジョンであるが、独自のしっかりした政策を進めて行くべきである。例えば、移住定住についても、子育て世代をいかに増やすか、住むところ、仕事、生活環境、その中で一番大切なところを、今年これをやる、来年はこれをやるという計画をきちんと示し、議会も議論して、住民と相談し、前に向けた形で、力を出せる議会になりたい、議員になりたい思いで仕事をしている。

答 今、役場内でも、特に若い皆さんが集まり、我町をどうすれば光り輝く町になっていけるか、色々な案を出してもらっている。

4月に向けて、機構の改革を行っている。議会にもなるべく早く示したい。一つ一つスピード感を持って対応する。協力をお願いする。

人口ビジョンとは
久万高原町の目指すべき将来の人口目標であつて平成72年(2060年)の人口4千人以上を維持するための計画をいう。

総務文教厚生常任委員会

議案第105号「平成28年度
久万高原町一般会計補正予算
(第5号)」

予算の補正額は、歳入歳出とも
に8398万円が追加され、総額は、
86億5609万円、9.9%の減

歳入
国庫支出金
臨時福祉給付金5446万円
増などで4437万円の増

県支出金
林業用施設災害復旧費補助金
2075万円増、棚田事業費
補助金2151万円減などの
計上で1229万円の減

繰越金
前年度繰越金の計上で
7554万円の増額

諸収入
道の施設販売収入の増額で
1268万円の増額

町債
過疎対策事業債3150万円の減
などで3080万円の減額

審議

瀧野 人口ビジョン等計画
されているが、行政と議会が
コミュニケーションを持って早
急に進めて行くべきであり、
若い人の仕事づくりなど投資
的で攻撃的な経費に起債を起
こすべきでは

A 新しい町づくりに向けて
攻めの政策を、皆で共有しな
がら進めて行く。

瀧野 若者分譲住宅の分譲の
件、条件を緩和し早くやるべ
きでは

A 今の条件で当分の間で
あったが、理事者と相談して
方向性を確認し報告する。

歳出
総務課

中川 電算に関する業務委託
が毎議会ごとに提案されてい
る。自治体すべてか

A 今回、社会保障・税番号
の利用開始のためのシステム
構築費であり、全国的なもの
である。

瀧野 以前電算は、熊本RK
Kだった。愛媛電算になった
が、電算会社が変わって不都

合は

A 操作性、慣れるまで大変
だった、現在のところ問題ない。

保健福祉課

瀧野 愛媛新聞に引きこもり
の記事が載っていた。それぞ
れの要因もあるが、担当課と
して引きこもり対策は考えて
いるか

A 今後は関係機関が連携し
て、共通認識を持つて取り組
んでいきたい。

消防署

瀧野 大きな立派な消防庁舎
の建設であったが施設管理に
人数が足りないのでは

A 施設管理は適正に運営で
きている。



上浮穴高校振興対策協議会

教育委員会

田村 上浮穴高校、町外から
何人来ているのか

A 現在26人が町外から通っ
ている。

議案第106号「平成28年度
久万高原町国民健康保険事業
特別会計補正予算(第3号)」

予算の補正額は、歳入歳出そ
れぞれ34万円が増額され、総
額は16億7128万円

歳入
前年度繰越金34万円の増額

歳出
一般高額療養費500万円の
増額
高額医療費共同事業拠出金
736万円の増額
保険財政共同安定化事業拠出
金1201万円の減

審議

瀧野 数年前から国保税が広
域化されると聞くが、平成30
年からは確実か

A 平成30年4月から実施さ
れる。

議案第107号「平成28年度久万高原町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ26万円が増額され、総額は9296万円

歳入

後期高齢者医療診療報酬収入
26万円

歳出

父二峰診療所、嘱託医給料
10万円
機械備品等の修繕費16万円

審議

瀧野 今後将来の診療所の存続について

A 住民の安心・安全のために末永く続くようにしたい。

議案第108号「平成28年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ95万円が増額され、総額は17億3792万円

一般会計繰入金74万円の増額

歳出

介護予防・日常生活支援圏域ニーズ調査に係る印刷製本費30万円
介護保険システム改修業務委託料42万円の増額

産業建設常任委員会

議案第105号「平成28年度久万高原町一般会計補正予算(第5号)」

歳出

審議

企画観光課
中野 道の駅の件、複式簿記にとのことで記帳されていると思うが決算報告を

A 定例会ごとに報告する。1月に合同専門委員会がある、指定管理に向けた取り組みを提示したい。

上沖

まちなか交流館の件、幼児から老人まで気楽に来てもらうということで地元のお茶を使って自動で、自由に飲めるものをと提案したが

A お茶は、ポットで対応する。機械については予算を伴

うので検討する。コーヒーの件は、業者からリースする。

上沖 住民目線で検討してほしい。

西山 農村活性センターの件、売店や直売所の補正、一貫性があつてか

A 施設の老朽化、店自体が暗いとのこと。代表者の会などでもあつた。要望書を受け、指定管理の協議会で審議し提案した。



「道の駅 みかわ」

た収集を検討いただきたい。

農政課

中野 6次産業化に向けて、生活改善グループのノウハウや意見を聞いたり、作物など広く皆の意見をもらって、オール久万高原で進めていきたい

A 今後は道の駅出荷者や販売者との話し合う機会を設け、方向性を検討していきたい。

森林業課

中野 森林組合の職員が減り活性化センターの職員が業務を兼ねていると聞く、活性化センターの機能は十分できるのか

A 森林組合の事業は、活性化事業が基本となるので、町としてはテコ入れして、事業が滞ってはいけない。

西山

森林の労務災害が起こっている。町として災害防止の啓もうはしているのか

A 広報にも出している。新規就業者向けの講座・安全講習も予定している。

環境整備課

中野 ごみの収集に関して現状を把握し、高齢者に配慮し

建設課

西山 地域住民から道路整備の要望が出ている。緊急性が災害性か

A 緊急なものや、補助事業でできるものについて、順次整理し進めている。

中野 国道の歩道の草刈等を住民に委託する方法の提案の検討を

A 松山第1維持課とも協議したい。

中野 昨年雪が多く国道の除雪、歩道の通行に支障をきたした。除雪の機械など購入し町で除雪することは



吊橋傍崩落箇所

A 昨年の状況はわかっているので、国交省とも協議していく。

玉井 柳谷旭のダムの崩落どうなっているのか。見通しは

A 平成29年度から、県の治山事業で、上部から直す。道路は町で復旧したい。

議案第109号「平成28年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)」

予算の補正額は、歳入歳出ともに総額100万円の増額補正で、累計1億7967万円

歳入の主なもの
前年度繰越金120万円

歳出の主なもの
経営戦略策定支援業務委託料100万円

中野 今回の経営戦略策定支援業務委託料は、4会計を含め1000万円近くとなるが、コンサルに出す必要性や、職員で作成できないのか

A 今回は急ぐことと専門的に経営分析など行うので、業務委託をしたい。

議案第110号「平成28年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)」

予算の補正額は、歳入歳出ともに総額370万円の増額補正で、累計2億5978万円

歳入の主なもの

一般会計繰入金464万円
前年度繰越金135万円の増額
資本費平準化債230万円の減額

歳出の主なもの
経営戦略策定支援業務委託料350万円の増

議案第111号「平成28年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)」
予算の補正額は、歳入歳出ともに総額172万円の増額補正で、累計4632万円

歳入の主なもの
前年度繰越金109万円

歳出の主なもの
浄化槽ブロー他修繕費50万円

経営戦略策定支援業務委託料100万円

議案第112号「平成28年度久万高原町簡易水道事業会計補正予算(第1号)」

収益的収入および支出について、収入および支出の予定額は511万円の増額補正で累計4億8654万円

収入の主なもの

給水収益511万円
支出の主なもの
経営戦略策定支援業務委託料438万円

その他

中野 設計の業務委託料は、本体事業と一緒に提出し、事業の説明をするとともに、事業の精査を

A 次年度計画などの調査業務は前年度予算になる。

中野 町の予算では、業務委託料が多すぎる。経費削減や職員のスキルアップの向上、専門職の育成は

A 業務委託すべては、職員でできないが、今後改善していく。

平成28年第6回久万高原町議会定例会 平成28年12月16日(質疑の要約)

一般会計補正予算(第5号)

光ファイバーの設置について

灌野 現在設置されている光ファイバーは、県事務所にあるスーパーハイウェイから、CATVが線を引き、町内の一部にインターネットの光が利用可能である。ADSLでは一定の距離を置くと、また何軒かの人が同時に使うと、通信不可能になる。防災無線も光を使うと双方のやりとりが出来る。今の防災無線もADSLも更新時期が来ている。今までは、総務省の補助事業で何十億もかけて町村が整備していた。これからは、N-TTが自分の持ち物としていく様な方向も聞いている。病院でも、中核病院と近隣の自治体病院で画像のやり取りは、ADSLでは出来ない。今、光を導入しなければ、将来、引くことは不可能である。議会は、全員一致で推進を決定している。

中野 四国で、この環境になつていないのは、久万高原町だけで、情報の離れ小島になる。議会として環境整備すれば、経費削減、お互いの意思の確認とかもできる。無いと何の可能性も生まれない。

田村 徳島県上勝町の葉っぱによるいろどり、インターネットで高齢者の方々が利益を上げていく。道の駅も出荷農家、加工者等利用出来ると飛躍するのは。学校現場でも、複式の授業が多く、他校と連携をとり共同授業が出来る。

中川 インターネットの環境が整備されていない町は、移住定住で来る可能性は、本当に低いと思う。

町長 4人の方から提言を頂いた。神山町は、最初にアクションを起こしたのは企業である。画期的な取り組みで、行政が絡み、地域が呼応し、先進地の代表的な事例として、大勢の方が目標としている。県下で光が十分に来ていない地域は、私どもだけだ。

その中で、CATVが来られ、予想外の反響で、500戸余りの方が加入された。ICTによる産業おこし、移住安定に大きな効果が期待される。重要な課題を頂き、早速に議論を重ねて検討する。

灌野 喫緊の課題は、上浮穴高等学校と子どもを生育する方が少ないこと。町はいずれ消滅するのではないか。議会と行政、町民と職員、四者が一体となつて改革しなければならぬ。

町長 農業、林業の再考、移住定住政策、高校の魅力化、やる

ことはお互いにわかつてはいるはず。一つ一つ確実に実行していくことが、人口減少のスピードを緩めていく。また職員の提言もまともに入っている。機構改革も1月に提示できる。

介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

灌野

団塊の世代が、高齢化を迎えて多くなる。施設に入れるか入れないか。それに伴って在宅介護が大切になって来るのである。

A 施設に入れるかどうか、中期的な視野での検討課題である。在宅介護は、総合事業と、現状も把握しながら、住民の方に迷惑がかからない様な、施策を取って行きたい。

農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

灌野

人工減少社会を迎えて、下水道は、100基からマンホールポンプがある、汚水の量が足らなくて詰まることはないか。使用料が幾らなら、管路の利用が出来るか。

A 風呂、台所の水が入っており、詰まった事例は起こっていない。人口が減ると使用料は減る。施設の維持管理に努め、経費の削減を図る。

議会運営委員の指名について 議長 議会運営委員に、天野辰晴議員を指名する。

議会運営委員会において、副委員長の互選が行われ、天野辰晴議員に決定した。

損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告

道の駅の駐車場において、公用車を後退させようとしたところ、駐車中の車両に接触し、相手方車両が破損したものの。

西山 今までに多く事故が発生している。どの様な交通マナー、運転の向上に徹底しているか伺う。

A 7月の職員会で、議会から厳しい指摘があったことを、職員に伝えた。8月の職員会では、警察署の交通指導係長をお呼びして、事故防止の研修会を開催。今は、県下で行われている、無事故無違反コンテストに、各課から5名1チームを組んで、合計120名余りが参加して、意識づけを行っている。

森林整備の推進を求める意見書について

日野 ①森林整備等を推進するため、新たな財源を確保した上、基金制度を創設する。②森林環境保全直接支援事業に、標準単価制度による定額助成を拡充する。提出先 衆議院議長等6件

議会報告会の報告

玉井 委員長 今年度は、11月から12月にかけて、町内7会場で開催した。各会場では、議長挨拶、議員の自己紹介の後、議会議員の定数に関する特別委員会、町交通対策等に関する特別委員会、議会会報特別委員会の三つの特別委員会から、委員長報告を行った。

議会議員の定数に関する特別委員会の報告では、次回一般選挙から大選挙区となり、定数は1名減の13名になるとの報告、地域性を考え、大幅な定数減は疑問であるとの意見もいただいた。

町交通対策等に関する特別委員会の報告では、4月からJR四国バスの運行が、久万から落出の間廃止となる現状から、協議した委員会での経過報告を行った。廃止に伴い、通学問題や、障がい者、高齢者等の交通手段を、町全体で考えて欲しいと言う切実な願いも出された。

議会会報特別委員会報告では、議員自らが編集に携わり、開かれた議会活動の一環として、議会だより10号までの発刊を行った報告をした。住民に読んでわかる広報づくりに努め、今後も継続してほしいとの要望もいただいた。

その他には、インターネット環境の整備、空き家対策、環境条例の制定、面河少年自然の家の活用、県道、町道の草刈り等の管理、移住定住の問題、町民と行政と議会が一体となってまちづくりを進める提案など、多数の意見を賜った。

寒い時期でもあり、夜間に足を運んでくださり、各会場で貴重な意見、提案を賜り深

く感謝する。今後の定例議会でも、一般質問を行い、地域の声を政策に反映させて行きたい。最後に会場準備や片付けに、参加された職員の皆さんの協力にお礼申し上げ、報告を終わる。



常任委員会行政報告

川崎 委員長 平成28年11月22日、総務文教厚生・産業建設常任委員会では、徳島県神山町、NPO法人グリーンバレーにて、創生戦略レクチャー及びサテライトオフィス視察研修を行った。神山町は、徳島県の北東部に位置し、面積は173.3平方キロメートル、町の中央を東西に横断する鮎喰川流域に、農地と集落が点在し、その周囲を町域の86%を占める、300から1500メートル級の山々が囲む中山間地域である。町の人口は5000人余りで、高齢化率48%、近隣は徳島市、吉野川市、美馬市ほかである。平成9年、徳島県は、神山町に国際文化村を設ける構想を発表。文化村構想は実現しなかったが、町内の実業家らにより、平成11年より芸術家を誘致する神山アーティスト・イン・レジデンス事業を開始した。国際文化委員

会は、平成16年にNPO法人グリーンバレーに名を改め、町から受託した移住支援事業や、人材育成支援事業などを行っている。



平成23年の地上デジタル放送移行前に、平成16年に神山町と佐那河内村が連携して、山間部の情報格差、難視聴対策として、ケーブルテレビ兼用の光ファイバー網を整備したこともあり、平成22年にクラウド名刺管理サービスのベンチャー企業が、同町で初め

て古民家オフィスとしたのを初め、IT企業のサテライトオフィスの進出が相次ぐ。



平成23年には、社会動態人口が増加に転じ、この町づくりの取り組みが全国から注目されている町である。神山町では、平成27年に若手職員及び住民等、約30名からなるワーキンググループの協働で、創生戦略を策定し、神山町の創生戦略人口ビジョン、町を将来世代につなぐプロジェクトを立ち上げ実行している。徳島県には、山間地域にも全域光ファイバー網が整備されている。この好条件のもと、神山町という過疎の山里に、

2年間でIT企業9社が、相次いでサテライトオフィスを開いた。

なぜ神山町に人が集まるのか、ICTインフラは必要条件であり、NPO法人グリーンバレー、大南理事長の人脈での、起業家、若者の誘致もあるが、そこには新たな働き方を求める人と、新たなまちづくりを考える人との出会いが存在する。研修の中では、人は可能性を感じられるところに集まってくる話があった。わが町でも、移住、定住施策を進めている、若手職員のプロジェクトチーム等も合同研修したので、今後の創生戦略に生かしてほしい。



議会を傍聴しませんか！

● 3月定例会(予定) ●

- 3月9日(木) 開会日、一般質問等
- 3月10日(金) 本会議
- 3月13日(月) 総務文教厚生常任委員会
- 3月14日(火) 産業建設常任委員会
- 3月17日(金) 閉会日

本会議も常任委員会も傍聴できます。

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL / FAX 0892-21-0134

〈 告示日：4月11日(火) 〉

町議会議員任期満了に伴う選挙

4月16日(日)

編集委員
山之内敏秋・上沖 教一
玉井 春鬼・日野 明勅
天野 辰晴・川崎 勝弘

議会報告会で、委員長より
議会だよりについて報告を
いたしました。議員だけで文
章の要約、ページに合わせて
の配置・構成など未熟な私た
ちですが一生懸命、議会だよ
り作りに苦慮しながら作成
しています。議員活動の実体
を町民にお知らせするPR
誌として、わかりやすく、読
みやすい紙面づくりに編集
委員一同努力しています。ご
愛読お願いします。

(川崎)

編
集
後
記